

島根県保健医療計画（隠岐圏域編）の進捗状況
（令和 3， 4 年度の特記すべき取組状況）

1 島根県保健医療計画（隠岐圏域編）の項目別の状況

1 住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築	(13) 緩和ケア及び終末期医療
【5疾病】	(14) 医薬分業
1 がん	(15) 医薬品等の安全性確保
2 脳卒中	(16) 臓器等移植
3 心筋梗塞等の心血管疾患	(17) 医療安全の推進
4 糖尿病	(18) 健康長寿しまねの推進
5 精神疾患	(19) 健やか親子しまねの推進
【5事業】	(20) 難病等保健・医療対策
(6) 救急医療	(21) 感染症保健・医療対策
(7) 災害医療	(22) 食品の安全確保対策
(8) 地域医療（※8-1、8-2、8-3）	(23) 健康危機管理体制の構築
(9) 周産期医療	(24) 保健医療従事者の確保・育成と資質の向上
(10) 小児救急を中心とした小児医療 及び在宅医療	(25) 医療・保健福祉情報システムの構築

1 住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築

- (1) 医療連携体制の構築
- (2) 医療に関する情報提供の推進

主な取組状況	<p>○「隠岐地域保健医療対策会議 在宅医療部会」（島根県地域医療構想調整会議 関係者会議）（令和 5 年 1 月 26 日）を開催。</p> <p>※島前病院 病床機能変更について</p> <p>【変更前】病床数 44 床（内訳：急性期 20 床 回復期 24 床（医療療養型 16、介護療養型 8）</p> <p>【変更後】病床数 44 床（内訳：急性期 20 床 回復期 24 床（医療療養型 24）</p> <p>※隠岐病院と町立診療所の一元化（R 6 実施予定）</p> <p>※意見交換 隠岐管内診療機関のヒアリングのまとめから「隠岐圏域の在宅医療の現状と課題」</p>
	<p>○「隠岐地域保健医療対策会議 難病対策部会」（令和 5 年 2 月 14 日）開催。</p> <p>（第 1 部）部会</p> <p>①圏域の難病患者の実情と保健所の難病対策の状況について</p> <p>②意見交換「重症難病患者・家族の療養支援について」</p> <p>（第 2 部）</p> <p>①事例報告</p> <p>②意見交換「ALS 患者とその家族に寄り添う支援とは」</p> <p>○隠岐の島町・隠岐病院・隠岐広域連合・隠岐保健所で、実施している、入退院連携ワーキングにおいて、まめネット活用に関する学習会を開催。</p> <p>○実際に海士町で診療所・施設の看護師間でまめネットを活用しており、その活用状況を情報収集した。</p>

1 がん	
(1) がん予防（発生リスクの低減、早期発見、早期受診）の推進	
(2) がん医療 (3) 緩和ケア (4) がん登録 (5) 患者支援	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○隠岐圏域では、5か所しまね☆まめなカンパニーの登録。 ○隠岐圏域は、「肺がん、大腸がん、乳がん」の3つのがんの発生リスク低減と早期発見の推進に取り組んでいる。各がん検診の受診率向上に向け、保健所・各町村で啓発に取り組んでいる。 ○がん検診チェックリストを用いて管内町村の検診実施状況の把握を行った。 ○隠岐圏域地域連携ハンドブックの更新作業開始。各施設の医療的ケアをまとめ、関連会議で検討を重ねる。 ○隠岐の島町、隠岐病院、隠岐広域連合、保健所で啓発チラシ「隠岐で自分らしく生きる」を作成・配布。 ○隠岐の島町と保健所で連携し「高齢者の過ごし方講座」の共同開催。 ○がんサロンに参加し、体験者の意見を実際に聞くことで各種事業などに反映。
2 脳卒中	
(1) 脳卒中予防（発病予防、早期発見）の推進	
(2) 脳卒中の診断・治療	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域健康長寿しまね推進会議栄養・食生活・歯科保健（まめまめ）部会では「しっかり朝食・ちょびっと減塩」をテーマに各種啓発活動を実施 ○「日本高血圧の日」に併せ、管内音声放送で日頃の血圧管理について啓発を実施 ○圏域の共通課題である「多量飲酒」を改善するため、アルコール対策を推進。圏域独自のAUDIT啓発チラシの作成・配布。 ○事業主セミナーを開催。島根産業保健推進センター職員を講師に招き、アルコールに関する研修会を開催。 ○隠岐の島町五箇北方区をモデル地区に、住民や関係機関と協働した健康づくり活動を展開。 ○隠岐支庁内の安全衛生委員会と協働し、職員対象のからだにいいことチャレンジ週間を実施。
3 心筋梗塞等の心血管疾患	
(1) 心筋梗塞等の心血管疾患の予防（発症予防、早期発見）重症化防止の推進	
(2) 病院前救護体制の確立	
(3) 心筋梗塞等の心血管疾患の診断・治療 (4) 患者支援	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域健康長寿しまね推進会議栄養・食生活・歯科保健（まめまめ）部会では「しっかり朝食・ちょびっと減塩」をテーマに各種啓発活動を実施 ○「日本高血圧の日」に併せ、管内音声放送で日頃の血圧管理について啓発を実施 ○事業主セミナーにおいて治療と仕事の両立支援についてガイドラインを用いながら説明を実施
4 糖尿病	
(1) 糖尿病予防（発症予防、早期発見）の推進	
(2) 糖尿病の診断・治療水準の向上	
(3) 糖尿病による合併症予防の推進 (4) 患者支援	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域健康長寿しまね推進会議まめまめ部会において、朝食摂取、バランス食、運動習慣の確立等を啓発。 ○隠岐の島町五箇北方区をモデル地区に、住民や関係機関と協働した健康づくり活動を展開。 ○隠岐支庁内の安全衛生委員会と協働し、職員対象のからだにいいことチャレンジ週間を実施。 ○「隠岐の島町糖尿病委員会」に事務局として参画。重症化防止の取組強化を図るとともに、予防に向けた住民啓発を行っている。

5 精神疾患	
(1) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築 (2) 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築 (3) 精神科医療体制等の整備	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隠岐圏域精神障がい者地域生活移行・地域定着支援会議を開催し、包括的な支援体制について検討（予定） ○ 町村の自立支援協議会・地域ケア会議等に参加し、町村の具体的な取り組みに向けた支援を継続。 ○ 自立支援ボランティアへの意向調査、ピアサポーター養成に関する関係機関ヒアリングを実施し、活用場面等を検討。 ○ 各町村自立支援協議会にて検討。 ○ 住民向けに各種相談窓口の周知を図る目的で「隠岐圏域こころの健康ホットライン」を作成し配布。 ○ 町村と協働し「ゲートキーパー養成研修」を実施 ○ R3年度よりオンラインによるこころの健康相談を行い、相談機会の拡充を図った。 ○ 隠岐圏域精神障がい者地域生活移行・地域定着支援会議を開催し、長期入院患者の退院支援について検討（予定）
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「隠岐圏域こころの健康ホットライン」の配布・周知 ○ 隠岐認知症疾患医療センターと共催で、隠岐圏域認知症疾患医療連携協議会を実施し、地域における連携体制について検討。 ○ 隠岐認知症疾患医療センターと共催で隠岐圏域認知症対応力向上研修（認知症予防、若年性認知症の対応）を開催。 ○ 子どもの心の診療ネットワーク事業において、「思春期こころの健康相談」「事例検討会」を実施。 ○ R3年度相談窓口を整理し連携強化を図るため隠岐教育事務所と共に「子どもの心の相談窓口」を作成。R4年度、圏域内の医療・保健・福祉・教育機関へ配布。 ○ 令和4年度東部圏域ブロック会議に出席。 ○ 個別ケースについて、支援会議への参加、病院・役場と同伴で家庭訪問を実施。 ○ 健康長寿しまね推進事業や事業所訪問等の取組で、適正飲酒等アルコール問題の予防について啓発を実施。 ○ 未成年者飲酒防止の観点で、学校での出張講座を実施。 ○ 「お酒の困りごと相談」について、広報等で周知。 ○ 島後地区では、医療・保健・福祉機関で連携してアルコール健康障がいに対する取組を進めていくため、「アルコール健康障がい対策連絡会」を開催。 ○ 隠岐圏域高次脳機能障がいネットワーク会議に参加。 ○ 隠岐圏域精神科救急医療体制整備連絡調整会議を開催し、精神科救急医療体制について検討（予定） ○ 隠岐圏域自死予防対策連絡会を開催し、管内の自死予防対策の推進について検討（予定） ○ 個別支援を通じ、継続した支援を実施。 ○ 学童の不登校支援についても、子どもの心の診療ネットワーク相談事業で対応。

6 救急医療	
(1) 救急医療体制 (2) 搬送体制 (3) 病院前救護体制	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「令和4年度本土側医療機関医師等同乗による離島救急患者緊急搬送に係る連絡会」（R5.1/18 県庁主催）において、一般救急患者のくんだり搬送について、隠岐限定で運用可能。また、コロナ患者のドクターヘリ搬送について、運送会社と協議中。

7 災害医療	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地震・風雨水害等の災害時の医療救護（災害時公衆衛生活動を含む） (2) 災害拠点病院等の整備 (3) 広域連携の確立 (4) 原子力災害時の医療救護 	
主な取組状況	

8-1 地域医療（医師確保等によるへき地医療の体制確保）	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域医療支援体制の構築 (2) 一次医療の維持、確保 (3) 地域医療拠点病院 (4) 医師ブロック制の推進 (5) 巡回診療の確保 (6) へき地診療所の充実 (7) 通院手段の確保 (8) 在宅医療の推進 (9) 電話相談システムの活用 (10) 広域的な支援体制 	
主な取組状況	<p>○島前地域の持続的な医療体制を構築することを目的として令和5年1月19日に「今後の島前医療を考える会」を開催。島前3町村長をはじめ、行政、医療機関等関係者間で議論した。今後も継続的に会議を実施し、関係機関が連携しながら隠岐圏域の持続的な医療体制の構築を目指した取り組みを推進していく。島前病院から海士診療所へ医師派遣の了承を得ている。また、医療・保健・介護人材確保を島前3町村＋県で取り組む。</p> <p>○在宅医療の現状と課題を把握するため、島前島後の医療機関・訪問看護ステーションへ聞き取り調査を実施。在宅医療部会で報告、意見交換を行う。</p>

8-2 地域医療（地域医療に従事する医師の確保・養成・支援を行うための施策の推進）	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 医師の確保・養成・支援に向けた関係機関の連携 (2) 医師を確保する施策（即戦力となる医師の確保） (3) 地域医療を担う医師の養成 (4) 地域で勤務する医師の支援 	
主な取組状況	

8-3 地域医療（看護職員を確保する施策の推進）	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 県内進学促進 (2) 県内就業促進 (3) 離職防止・再就業促進 (4) 資質向上 	
主な取組状況	○県庁と隠岐保健所でインターンシップを実施。県内看護大学保健師志望者を受け入れた。

9 周産期医療	
(1) 周産期医療ネットワーク (2) 中核となる医療機関と地域周産期医療関連施設における機能分担と連携の推進 (3) 医療従事者の確保 (4) 医師と助産師間の連携 (5) 搬送体制の強化 (6) 妊産婦の健康管理の充実 (7) 地域住民への啓発 (8) 重症児等の支援 (9) 災害時の体制	
主な取組状況	○周産期医療体制の協議の場として「松江圏域周産期連絡協議会」へ参画。また、隠岐圏域での検討の場として、「隠岐圏域周産期医療検討会」を開催。 ○周産期医療検討会を開催し、隠岐圏域の医療機関の搬送状況を把握し検討。 ○「隠岐圏域母子保健担当者連絡会」にて、子育て包括支援センター設置から2年経過した現在の様子を各町村へ確認し、現在の運営状況を把握。また、同連絡会において、令和6年度よりこども家庭センター設置されることに関する進捗状況や、母子保健・福祉の連携状況、ハイリスク妊婦把握の様子について確認。今後体制整備の支援へつなげる。 ○令和4年度より、隠岐圏域全町村で産前・産後サポートに関する支援が整い、産後のケア事業が実施となった。

10 小児救急を含む小児医療	
主な取組状況	

10 在宅医療	
(1) 退院支援 (2) 日常の療養支援 (3) 急変時の対応 (4) 看取り (5) 在宅における連携体制の構築	
主な取組状況	○県ガイドラインを参考に、「隠岐の島町入退院連携ツール」を作成した。 ○ツールの共有・活用促進を目的に、隠岐圏域多職種研修会を開催した。 ○各町村の在宅医療・介護連携推進に関する会議に参加。 ○隠岐広域連合の地域包括ケア推進に関する会議に参加し、隠岐圏域の現状・課題の共有。

14 医薬分業	
(1) 医薬分業の普及・啓発 (2) 処方せん応需体制の整備	
主な取組状況	○医療機関への立入検査の際、医薬分業の状況の確認と助言を行った。また、パンフレットの配置やポスターの掲示により医薬分業の普及・啓発を行っている。 ○処方せん応需薬局への立入監視を実施し、処方せんの枚数に応じた薬剤師員数を確保し適正な服薬指導を行うよう指導した。

15 医薬品等の安全性確保	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 医薬品等の適正使用及び安全性の確保 (2) 薬物乱用防止 (3) 血液事業の推進 (4) 毒物劇物に対する監視指導 	
主な 取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○薬局及び店舗販売業者に対して医薬品販売時の適正な情報提供を行うよう指導した。 ○隠岐の島警察署及び浦郷警察署と合同で学校における薬物乱用防止教室を実施し、医薬品の適正な使用及び薬物乱用防止について啓発した。 (隠岐高校、隠岐水産高校、磯小学校、都万小学校、西郷中学校、西郷南中学校、都万中学校、五箇中学校、知夫小中学校) ○ポスターの掲示及びパンフレットの設置により血液事業の推進について啓発を行った。 ○隠岐支庁農林水産局と合同で毒物及び劇物取扱者に対する立入監視を実施し、盗難や事故がないよう適正な保管を行うよう指導した。

21 感染症保健・医療対策	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 感染症全般 (2) HIV感染症・後天性免疫不全症候群（AIDS） (3) 性感染症 (4) 予防接種 (5) 結核 	
主な 取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域の定点医療機関から「まめネット」により報告のあった感染症情報を収集し、県感染症情報センターがホームページで流行状況等を公開している。 ○感染症情報収集システム（学校欠席者情報収集システム）により、学校や保育所等の感染症の流行状況を確認し、患者の急増など発生動向に注意を要する場合は、学校や保育所等に対して感染対策の指導・助言を行っている。また、必要に応じて立入調査を実施している。 ○社会福祉施設の職員を対象とした感染対策研修会を通じて、新型コロナウイルス感染症等の予防、まん延防止について周知啓発を行った。 ○HIV、性感染症の正しい知識の普及のため、世界エイズデーにおいて、ポスター掲示・保健所広報誌（はるもにあ）への記事掲載による普及啓発活動、夜間検査（申込0件）を実施した。その他通常時の電話相談への対応を行っている。 ○結核の正しい知識普及のため、結核予防週間に合わせた周知（各町村の防災行政無線やIP放送等を用いた啓発、ポスター掲示、町村へのチラシの配布）を実施した。

22 食品の安全確保対策	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 食品営業施設の監視・指導 (2) 食品に関する啓発・情報発信 (3) 調査・検査態勢等 (4) 食品営業施設への助言・支援 	
主な 取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県食品衛生監視指導計画に基づき、食品の安全確保及び飲食に伴う健康被害の発生を防止するため、食品関係施設の立入監視を行い衛生管理の向上を指導している。 ○食品衛生法改正に伴うHACCP制度化や許可制度の見直し、営業届出制度の創設等に関する周知や相談対応、手続の補助を重点的に行っている。併せて、食品製造業者に対して食品表示法に基づく適正な食品表示の周知や相談対応を行っている。 ○イワガキによる食中毒を防止するため、ノロウイルスの検査を行っている隠岐支庁水産局と連携を密にし、イワガキの生産者への情報提供及び指導体制を強化している。 ○食品衛生推進員と連携しながら、地域の食品関連施設に対して衛生管理及び適正な食品表示に関する啓発を行っている。

23 健康危機管理体制の構築	
主な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○「隠岐保健所新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」に基づき、迅速かつ的確に新型コロナ対応を行った。また、保健所が拠点となり新型コロナ対応に係る会議や研修会を開催し、町村や医療機関等との情報共有を図った。 ○食中毒を疑う事例が発生した際、原因究明のための疫学調査や施設調査を実施し、被害拡大防止等の措置を行った。(食中毒事例：令和3年度1件、令和4年度なし) ○不審者・不審船合同対処訓練に参加し、保健所の検疫対応や関係機関との連携について確認し、健康危機管理体制の強化を図った。

